



令和7年4月7日(月)
練馬区立開進第四小学校
校長 関川 健

開四小だより

4月号

祝 開校70周年の年も、みんなで育てる開四の子

校長 関川 健

春光うらかな季節となり、令和7年度の新学期を迎えました。お子様のご入学、ご進級誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。入学したてのピカピカの1年生73人はもちろん、2～6年生の子供たちも新しい学年への期待と希望に満ち溢れていることでしょう。開進第四小学校教職員一同、今日の新たな出会いと新鮮な気持ちを大切にして子供たちが充実した日々を過ごせるよう、明るく、誠実に、且つ本気で、努力してまいります。

開進第四小学校では、「よく考える子・思いやりのある子・体をきたえる子」を教育目標としており、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指しています。そして、具体的な「目指す子供像」を定めて、子供たちの「主体的な学び」を目指した授業改善を行いながら教育活動を進めていきます。

教育目標

- よく考える子
 - ・意欲的に学び、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して筋道を立てながら自分の考えをもち、伝え合う子
- 思いやりのある子
 - ・自分を大切に、人を思いやる優しい心をもち、互いのよさを認め合い、協力し合いながら、高め合うことができる子
- 体をきたえる子
 - ・運動をする楽しさを知り、健康や体力の保持・増進にすすんで取り組み、粘り強く最後までやり遂げる子

開四小では、「みんなで育てる開四の子」を合言葉に、全職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいります。保護者、地域の皆様には、今年度もますますのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年度本校は、開校70周年記念の年度です。6月21日(土)の開校70周年記念式典・祝賀会をはじめ、70周年を祝う行事や記念グッズ製作(プレゼント及び販売)などの準備を進めています。

開四よもやま話

校章の制定

開校70周年 year にちなみ、開四小の歴史に触れていきたいと思えます。



開校当時の図工専科であった神山 吉雄教諭の作です。デザインの意味は以下の通りです。

学校の裏を流れる石神井川の桜を四弁にして「四」を示し、花卉の間に四本の光芒を附して、悠々の空にまばゆく進む光に本校の姿もかくあれかしと願いをこめている。(10周年記念誌より)

正門を入れてまっすぐ見上げると、南校舎の壁の時計の上に、金色の校章が輝いています。子供たちの校帽にも付いています。